

# 中学校第3学年

# 国語

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから19ページまであります。問題用紙の空いている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答は、全て「国語」の解答用紙に記入してください。
- 4 解答は、HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可、ボールペンは不可)を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏にもあります。
- 8 調査時間は、50分間です。
- 9 机の上の「個人番号シール票」をよく見て、解答用紙に、組、出席番号、性別、個人番号を間違いないように書き、個人番号シールを1枚貼ってください。

問題は、次のページから始まります。

1

梅山市の中学校では、各校の代表が参加し、地域清掃活動についてテレビ会議を行っています。この会議の司会は、第一中学校の本田さんです。次は、各校の代表に配られた【資料】と、【資料】にある「(3) 質疑応答」での【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(【話し合いの一部】の①から⑥は、発言の順序を表します。)

【資料】

梅山市中学校代表者会議 資料

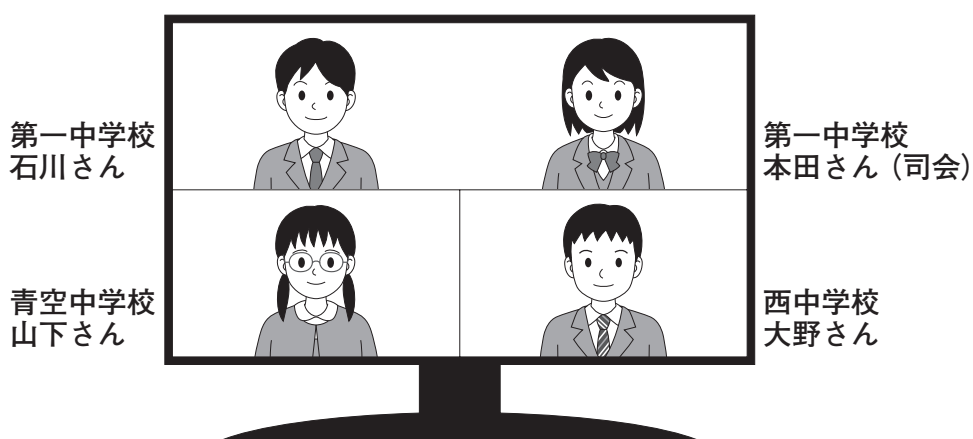
- 日時 5月20日(木) 15:50~16:30
- 参加者 第一中学校：本田(司会), 石川  
青空中学校：山下  
西中学校：大野
- 目的 各校での地域清掃活動を活性化するために、昨年度行った取り組みの工夫について情報交換を行う。

○ 会議の流れ

|                |        |
|----------------|--------|
| (1) 会議の目的の説明   | (3分)   |
| (2) 各校の取り組みの報告 | (各校3分) |
| (3) 質疑応答       | (25分)  |
| (4) まとめ        | (3分)   |

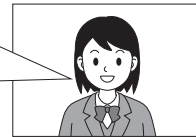
○ 各校の取り組み

| 学校名 | 昨年度行った工夫          |
|-----|-------------------|
| 第一中 | 担当する清掃場所を細かく分ける。  |
| 青空中 | 実施回数を年1回から3回に増やす。 |
| 西中  | 実施時期を5月から8月に変える。  |



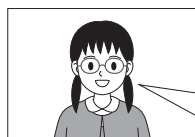
①

各校の取り組みについて、質疑応答に入ります。今日は、原則として、一つの質問に対する答えが終わってから、次の質問をするようにしてください。地域清掃活動を活性化させるために、他校に聞きたいことはありませんか。



第一中学校  
本田さん(司会)

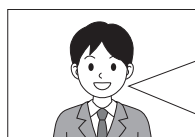
②



青空中学校  
山下さん

第一中学校に質問があります。担当する清掃場所を細かく分ける取り組みに興味をもったのですが、その取り組みで清掃活動はどのように活性化したのですか。

③

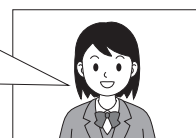


第一中学校  
石川さん

第一中学校では、清掃場所を細かく分け、担当する場所を自分たちで決めることによって、一人一人が責任をもって活動するようになりました。また、本校は地域の方と合同で清掃活動を行っているのですが、そのための事前打ち合わせに、昨年度は担当場所の代表も参加しました。その結果、地域の方といっそう協力して取り組むことができるようになりました。

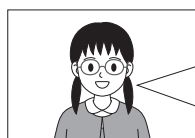
④

一人一人が責任をもって活動するようになったということですね。また、地域の方との打ち合わせに担当場所の代表が参加したことも、活性化につながったということでした。青空中学校の山下さん、よろしいですか。



第一中学校  
本田さん(司会)

⑤

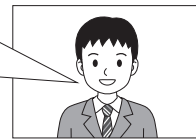


青空中学校  
山下さん

はい。ありがとうございます。青空中学校では、生徒だけで清掃活動を行っていますが、今後は地域の方と合同で行うことも検討してみたいと思います。そこで、もう少し質問したいことがあります。第一中学校では、地域の方との合同の清掃活動をどのような手順で進めているのかを、具体的に教えてくださいませんか。

⑥

西中学校でも、地域の方との合同の清掃活動を考えたいと思います。また、実施回数も見直そうと思うのですが、回数を増やしたことで生徒たちの取り組み方がどう変わったのかを、青空中学校に質問したいです。



西中学校  
大野さん

一 【話し合いの一部】における司会の本田さんの発言④は、話し合いの中でどのような役割を果たしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 話し合いの方向を転換する役割。
- 2 参加者の発言の要点を確認する役割。
- 3 参加者の発言の不足を指摘する役割。
- 4 話し合いの進行の仕方を提案する役割。

二 【話し合いの一部】における青空中学校の山下さんの発言⑤について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 石川さんの発言の中で納得できなかったことについて、発言の根拠を明らかにするために質問をしている。
- 2 石川さんの発言の中で理解できなかったことについて、発言の意図を確かめるために質問をしている。
- 3 石川さんの発言の中で関心をもったことについて、さらに詳しく知るために質問をしている。
- 4 石川さんの発言の中で共感したことについて、共通点を明確にするために質問をしている。

三 西中学校の大野さんの発言⑥のあとで、参加者の一人が発言します。あなたは、誰がどのようなことについて発言するとよいと考えますか。また、そのように考えたのはなぜですか。本田さん、石川さん、山下さんの中から一人を選び（どの参加者を選んでおかまいません）、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【話し合いの一部】の①から⑥までのやりとりを踏まえ、どのようなことについて発言すればよいのかを書くこと。

条件2 条件1のように考えた理由を具体的に書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

← 選んだ参加者の記号を塗りつぶしなさい。

選んだ参加者

Ⓐ 本田さん

Ⓑ 石川さん

Ⓒ 山下さん

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

## 2

山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いています。次は、山田さんが書いた【意見文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(1から4は、段落の番号を表します。)

### 【意見文の下書き】

① SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通じたやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。<sup>Ⓐ</sup>からだ

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。

一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行ってはダメなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないようにしていねいに書いていれば、このようなことは起こらなかつただろう。

Ⓑ 「集合場所までどうやって来るの。」と

③ 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

④ SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

― 山田さんは、「**【意見文の下書き】**」を読み返して、④と⑤のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 ①段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
- 2 ②段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 3 ③段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
- 5 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。



二 山田さんが書いた【意見文の下書き】の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、**1**、**2**などの段落の番号を示しながら書くこと。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|

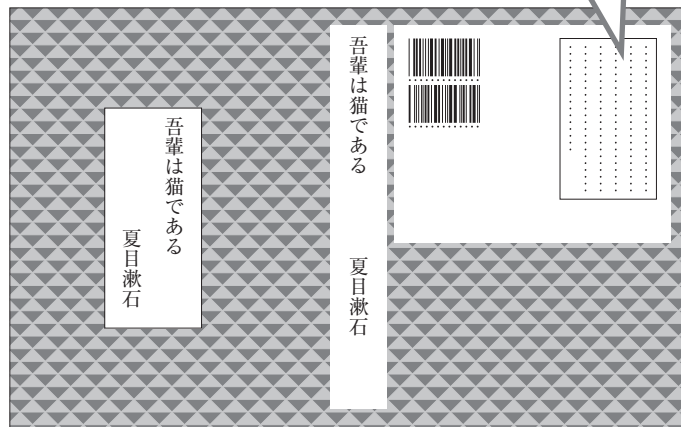
問題は、次のページに続きます。

3

次は、夏目漱石の作品『吾輩は猫である』の本のカバーに書かれている【紹介】と、【文章の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【紹介】

中学教師の苦沙弥先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽そのもの。周囲の様子を観察し、様々に評価する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が三十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の共感を呼ぶ名作。



「ここまでであらずし」 苦沙弥先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶島ちやばたけで黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、車屋（人力車を引く人）に飼われている乱暴猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶島の中で寝ころびながら、いろいろ雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をさも新しそうにくりかえしたあとで、吾輩に向かって下しものごとく質問した。

「おめえはいままでに鼠ねずみを何びきとったことがある。」

智識ちしきは黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにきまりがよくはなかった。けれども事實は事實で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はとろうとろうと思つて、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からぴんとつっぱっている長いひげをびりびりとふるわせて、非常に笑つた。元來黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあつて、彼の気焰けいえんを感心したようにこの呼吸①をのみこんだから、この場合にも、なまじいおのれをやすい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの呼吸①をのみこんだから、この場合にも、なまじいおのれを弁護してますます形勢を悪くするのも愚である、いっそのこと彼に自分の手柄話をしゃべらしてお茶（注3）をにごすにしくはないと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたろう」と、そそのかしてみた。

(注4) 果然彼は、墻壁の欠所に啞喊してきた。

「たんとでもねえが、三、四十はとつたろう」とは、得意気なる彼の答えであった。彼はなお語をつづけて、「鼠の百や二百は一人でいつでも引き受けるが、いたちってえやつは手に合わねえ。一度いたちに向かつて、ひどい目にあった。」

「へえ、なるほど」と、あいづちをうつ。

黒は大きな眼をばちつかせて、いう。

「去年の大掃除のときだ。うちの亭主が石灰の袋を持って縁の下へはいこんだら、おめえ、大きないたちの野郎がめんくらって飛びだしたと思いいねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いたちってけども、なに、鼠のすこし大きいぐれえのものだ。こんちきしょうって気で追っかけて、とうとうどぶの中へ追いこんだと思いいねえ。」

「うまくやったね」と喝采してやる。

「ところがおめえ、いぎってえ段になると、やつめ最後っ屁をこきやがった。くせえのくさくねえのって、それからってえものはいたちを見ると胸が悪くならあ。」

彼はここにいたって、あたかも去年の臭気を今なお感ずることく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんなでまわした。吾輩も少々気のどくな感じがする。ちつと景気をつけてやろうと思つて、

「しかし鼠なら、君ににらまれては百年目だろう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにふとって色つやがいいのだろう。」

黒のごきげんをとるためのこの質問は、ふしぎにも反対の結果を呈出した。彼は啞然として大息している。

「考げえるとつまらねえ。いくら稼いで鼠をとつたって——いってえ人間ほどふてえやつは世の中にいねえぜ。人のとつた

鼠をみんな取りあげやがって、<sup>(注6)</sup>交番へ持ってゆきあがる。交番じゃ、だれがとったかわからねえから、そのたんびに五錢ずつくれるじゃねえか。うちの亭主なんか、おれのおかげでもう一円五十錢くらいもうけていやがるくせに、ろくなものを食わせたこともありやしねえ。おい、人間てものあ体のいい泥棒だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらいの理屈はわかるとみえて、すこぶるおこったようすで背中の毛を逆だてている。吾輩は少々気味が悪くなったから、いいかげんにその場をごまかして、うちへ帰った。

このときから吾輩は、けっして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の子分になって鼠以外のごちそうをあさってあるくこともしなかった。ごちそうを食うよりも寝ていたほうが気楽でいい。

(夏目漱石『吾輩は猫である(上)』による。)

(注1) 気焰＝燃え上がるような盛んな意気。

(注2) 御しやすい＝思うように扱いやすい。

(注3) お茶をにごすにしくはない＝ごまかすのが最もよい。

(注4) 果然彼は、墻壁の欠所に呐喊してきた＝ここでは、予想どおり「黒」が誘いに勢い込んで乗ってきた、ということ。

(注5) 喟然として大息して＝ため息をついて嘆いて。

(注6) 交番へ持ってゆきあがる＝当時は、公衆衛生上、鼠退治を奨励し、とった鼠を交番で買い上げた。

一 ― 線部①「呼吸をのみこんだ」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 コツをつかんだ。
- 2 息を吸い込んだ。
- 3 ため息を抑えた。
- 4 発言を我慢した。

二 ― 線部A「喝采してやる」、線部B「とった」のそれぞれについて、「吾輩」の動作である場合は1、「黒」の動作である場合は2、「亭主」の動作である場合は3を選びなさい。

三 ― 線部②「反対の結果を呈出した」とありますが、このことは「黒」のどのような様子から分かりますか。【文章の一部】の中から探し、抜き出しなさい。

四 【紹介】に~~~~線部「様々に評価する」とありますが、【文章の一部】では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような

接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をし

ていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|



## 4

総合的な学習の時間で、地元の伝統工芸である「焼き物」について調べている青木さんのグループは、「ふるさと焼き物館」で焼き物作りの体験をしたいと考え、担当者とメールのやりとりをしています。次は、青木さんが送信した【二回目のメール】、【担当者からの返信メール】、青木さんが送信する【三回目のメールの下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

青木さんが送信した【一回目のメール】

宛先: △△△△@△△△△.△△.jp  
 件名: 焼き物作りの体験について

2021/05/12

ふるさと焼き物館 御中

初めてメールを差し上げます。  
 第一中学校3年の青木太郎と申します。  
 私たちは、今、学校の授業で地元の伝統工芸である焼き物について学んでいます。地元の土や製法には、他の焼き物にはない特徴があることにとても興味をもっています。調べていく中で、ふるさと焼き物館で焼き物作りの体験ができることを知り、地元の焼き物についての理解を深めるためにも、実際に作ってみたいと考えました。  
 できましたら、6月16日（水）の午後に4名で体験したいのですが、まだ受け付けているコースがあれば教えてください。  
 よろしく願いいたします。

第一中学校 青木 太郎

【担当者からの返信メール】

宛先: △△△@△△△△△.△△.jp  
 件名: Re: 焼き物作りの体験について

2021/05/13

第一中学校 青木 太郎 様

ふるさと焼き物館の前田です。焼き物に興味をもってください大変うれしく思います。ご希望の6月16日（水）の午後は、以下のコースの受付が可能です。

〈Aコース〉粘土を伸ばして板状にし、皿を作ります。  
 ①  
 〈Bコース〉ろくろ台（回転台）を用いて花瓶を作ります。  
 ご希望のコースとそれぞれの参加人数が決まりましたら、メールでお知らせください。どちらのコースも14時から開始しますので、遅れないようにいらっしゃってください。  
 なお、地元の土や製法の詳細については、当日ご説明しますが、他にも知りたいことがありましたら、体験中に随時お尋ねになってください。  
 ②  
 ③  
 ご連絡をお待ちしております。

ふるさと焼き物館 前田 花子

宛先:

件名:

2021/05/14

ふるさと焼き物館 前田 花子 様

第一中学校の青木です。ご返信くださりありがとうございます。  
希望のコースと人数ですが、Aコース2名、Bコース2名でお願いいたします。当日は開始時刻の10分前に行く予定です。  
④

なお,

第一中学校 青木 太郎

一 線部①と線部②の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

二 線部③「随時」の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 別のとき

2 次第に

3 少しの間

4 そのときどき

三 線部④「行く」とありますが、「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類を次の1から3までの中から一つ選びなさい。

1 尊敬語

2 謙讓語

3 丁寧語

四 青木さんは、【二回目のメールの下書き】の  の部分に、事前に確かめておきたいこととして、次の〈確認事項〉について書こうとしています。あなたならどのように書きますか。書き出しの「なお、」に続けて、相手に失礼のないように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈確認事項〉

- ・ 持ち物と服装について
- ・ 写真撮影の許可について

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

なお、

これで、国語の問題は終わりです。

